

8年ぶりのセンバツで想うのは、春初勝利。倉敷南ナインは待ちに待った吉報に歓喜するとともに、過去3度初戦で敗った大舞台に向け、決意を新たにした。

午後4時すぎ、倉敷市の同校野球部グラウンドに姿を見せた川井敏之校長が出場決定を報告。選手たちは喜び、そして表情で一礼した後、ガッツポーズで記念写真に納まったり、帽子を高く掲げ上げたりと喜びに浸った。「喜に入学した時はこんな光景、想像していなかった」と1年生左腕の水野は満面の笑みだ。

8戦入りした2012年夏を最後に過去が覆っていた聖地。昨夏の岡山大会決勝で敗れた先輩たちの夢も消負って暗んだ秋の大会では接戦の連続を持ち前の粘りでしぶとく勝ち上がった。「センバツでも勝利に導く一本を打ちたい」と打撃のキーマンの一人で初優勝に貢献した浅野は気持ちが高ぶらせた。この日は引退した3年生もグラウンドに駆け付け祝福。

前主将の岡田は「レギュラー中心にまとまりのあるチーム。自分たちらしい野球を甲子園でもしてほしい」と願った。

昨年11月の明治神宮大会は1回戦で関東主将の高崎健康福祉大高崎（群馬）に屈した。その悔しさも糧にオチも厳しい練習に打ち込んだ。仲間の手で初めて胴上げされた主将岡田は「今日のようにみんなでも喜びを思い描き、基本に立ち返って鍛錬を」。開幕まで約2カ月。中国主将は地道に戦力の底上げを図る。

## A large group of young men, likely a baseball team, are gathered on a field, cheering enthusiastically. They are wearing white uniforms with "KURASHO" and "K" on them, and blue caps with a "K" logo. Many have their fists raised in the air, and their faces are filled with excitement and joy. The background shows a baseball field with a green fence and some buildings in the distance.

8年ぶりのセンバツ出場を決め、喜びを爆発させる倉敷高ナイン。倉敷商高野球部グラウンド（森川基豪撮影）

## 練習成果究揮を

多田一也岡山県高野連  
会長 センバツ出場おめ  
でとうございます。伝統  
の粘りと緻密な野球に積  
極的な攻撃が加わり、中  
国大会を制し、明治神宮  
大会でも全国レベルの試  
合を展開されました。甲  
子園で練習の成果を存分  
に発揮してください。

伊東市織倉敷市長 8年ぶり4度目の出場を心からお祝い申し上げます。まずは初戦を突破し、一戦必勝で勝ち進むことを期待しています。皆さんの活躍は、西日本豪雨で被災した市の復興を大きく後押しするものと思っています。

はつらつ全力で

伊藤木隆太岡山県知事  
8年ぶり4度目の春の  
選抜大会への出場おめで  
とうございます。晴れの

感動を胸に、ヒットを打つ姿を見たい。

**自分で抑える**

福家悠太三塁手 投手  
陣の一人として「自分で抑える」という気持ちで



臨みたい。センバツ本番までにすべての面でレベルアップし、プレーでチームを引っ張っていく。

## 戦力分析

中国王者の魯影蔭は昨秋の公式戦12試合（10勝2敗）で88得点42失点。小枝を使った緻密な攻めの原田が2番に座ること

で攻撃に幅を生む。セ・パ  
ファイバントやエンド  
ランを器用にこなすだけ  
でなく、4割4分7厘、  
2本塁打、18打点のチー  
ム3冠王は打って局面を  
打開することもできる。

べて少ない印象はあるものの、県大会以降に記録した18のうち17は得点に結びつけた。同5・2四死球と週球眼もある。投手陣は三塁兼任の石川陽菜が中盤まで試合をつくり、1年生左腕永野につなぐのが勝ちパターン。この戦役で負けた。

昨年8月の就任からわずか半年、8年ぶりの春をもちたらしめた32歳は、今大会最年少だ。「『早い』『若い』とよく言われるけど、全国に基準を置けば『遅い』『もったいぶ』。口ぶりに初々しさはなく、風格すら漂うのには訳がある。

前回出場の2012年、倉敷西は1回戦で敗れた。

就任1年目で  
甲子園に導いた

梶山 和洋監督

## 勝利への執着心負けない

最後の「長谷川チルドレン」だ。名將・長谷川豊元監督が勇退した05年のチームで主将を任された。松山大で三塁手としてプレーした後、17年から森谷淳郎前監督を部長として支えた。尊敬するOB2人から引き継いだ打ち消してくれたのはあ

だ大役。「このバトンは重く、責任がこもる。他の監督に負けないものは勝利への執着だけ」と言い切る。前任の玉野商では自分でも怖いほど部員に厳しく接した。これが本場に正しいのか」という迷い。「生徒に見せられない」という。(岡崎創史)

---



#### 4番を打つ福島大輝選手



チームをけん引する原田将多主将



力投する永野司投手



円陣を組んで団結するナイン

倉敷商校歌

作词 野田 一  
作曲 小笠原良満

一、松栢（しよはく）茂る鰯形（いわが）  
緑も深き山麓（さんろく）  
高く聳（そび）ゆる巖（いわ）（いわが）  
こそ  
百等（ももどう）（われら）が舉（あ）げたる  
二、高梁川（たかばな）の水濱（みづは）  
滔々（たうたう）流れ絶えぬ  
（たうたう）  
希望（きぼう）の船（ふね）に棹（さか）さして  
自強（じきやう）（たけ）（たけ）  
三、至誠剛健（しじやうこうけん）  
吾等（われら）が心（こころ）となして  
吾（われ）が校風（がうふう）の麗（うつく）しき  
光（ひかり）を四方（よほう）に示（し）さん  
四、雖（な）がては出でん南海（なんかい）の  
帝波（ていば）ひびく（ひびく）  
日來（ひきよ）（ひきよ）（きた）（きた）  
吾（われ）が力（ちから）  
いさや試（こ）さん（もろ）（もろ）  
に

戰  
續[illegible]

中国大会の優勝旗を手に行進する重慶商の選手たち

おこわり  
記  
は休み  
ました。